

3月16日(木)午後7時、「2022(令和4)年度第2回沖縄県宗務推進会議」を開催しました。はじめに、令和5年度沖縄県宗務特別区執務方針について中岡順忍所長から次のように説明しました。「令和4年度開催予定だった第3期沖縄特区「門徒推進員養成連続研修会(連研)」はコロナ禍の影響により、令和5年度開催に向け、沖縄特区門徒推進員連絡協議会と協力して企画しています。また沖

縄特区門徒総代会の結成に向けて取り組んでいきます。令和4年は沖縄県本土復帰50年であり、沖縄開教地規定(宗則第2号)制定50年でもありました。これを記念した法要の修行と事業を実施すべく準備を進めてまいります。続いて、財務議決議案の令和5年度予算案、令和4年度予算補正案について事務局が詳細を説明。全会一致にて全議案が可決されました。また、以下のとおり事務連

## 第2回 沖縄県宗務推進会議



《2023春・第118号》  
 発行 浄土真宗本願寺派 沖縄県宗務事務所  
 発行人 中岡 順忍  
 〒900-0005 沖縄県那覇市天久2-18-2  
 電話 (098) 860-7009  
 ファックス (098) 860-7469  
 mail ameku2182@yahoo.co.jp

絡をし、閉会となりました。  
 (1) 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要団体参拝  
 ①令和5年4月3日(月)午後  
 の座に11名が参拝申込。  
 ②令和5年4月27日(木)午前  
 の座に34名が参拝申込。  
 (2) 沖縄特区「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」法要委員会から、法要委員会委員構成、法要委員会開催回数、慶讃法要修行時期、法要・記念行事内容等について現状を報告。また今後は、各分科会にて、委員以外の特区内寺院にも部会員として参画いただくよう依頼。  
 (3) その他  
 ①令和5年4月1日からの沖縄県宗務事務所・本願寺沖縄別院職員体制について報告。  
 ②令和5年3月26日(日)に勤修する「沖縄県本土復帰50年・沖



宗務推進会議の様子



縄戦全戦没者追悼法要」の参拝奨励。  
 ③各寺院において「子どもたちの笑顔のために募金」並びに、たすけあい運動募金「トルコ・シリア地震緊急支援募金」協力を奨励。  
 以上

## 沖縄特区・沖縄別院 沖縄県本土復帰50年・沖縄戦全戦没者追悼法要



法要の様子



音楽法話  
 〈非戦・平和コンサート〉  
 講師の三浦明利さん

1945(昭和20)年3月26日は、太平洋戦争(第2次世界大戦)で慶良間諸島に米軍が上陸し、沖縄戦が始まったとされる日です。約20万人もの尊いいのちや、かけがえのない文化遺産が失われました。戦後78年、当時を知る人は少なくなり、戦争への反省や恐怖も風化しつつあります。沖縄特区・沖縄別院では、「御同朋の社会をめざす運動」重点プロジェクト実践目標の「『非戦平和』悲惨な戦争からの学び」に基づき、全ての戦争犠牲者を悼む「沖縄戦全戦没者追悼法要」を毎年修行しています。昨年は沖縄県本土復帰50年の節目の年でもありました。  
 3月26日(日)午前10時、沖縄別院本堂において、2022(令和4)年度沖縄特区・沖縄別院「沖縄県本土復帰50年・沖縄戦全戦没者追悼法要」を修行。新たな取り組みとして、音楽法話(非戦・平和コンサート)を催しました。音楽×法話により、日頃は忙しくて聴いてきていない方、様々な理由から不安を感じている方、これまで浄土真宗にご縁の薄かった方にもみ教えに触れていただきたいと企画しました。  
 講師は三浦明利さん(奈良教区吉野北組光明寺住職、シンガーソングライター)。ギターとピアノによる生演奏とあたたかい歌声、三浦さんのお子さんの出演もあり、アットホームな雰囲気の中、全曲を演奏されました。これまで別院とご縁のなかった方々にも参拝いただき、皆で「非戦・平和」



左) 兵戈無用  
 右) ぶきはいらぬ  
 とプリントした缶バッジ

の願いについて考え、すべての戦争犠牲者を悼む法要となりました。参拝記念品として沖縄特区子ども・若者ご縁づくり推進委員会が作製した「非戦・平和」缶バッジは大好評でした。午後には映画『ドキュメンタリー 沖縄戦』を上映。初めて鑑賞された方も多く、「歴史の記録や戦争体験者の声の継承は大事」「一人ひとりが平和の大切さを学び、考え続けなければと思った」など多くの感想が聞かれ、法要の意義をあらためて実感させられました。



参拝記念品の願いについて考え、すべての戦争犠牲者を悼む法要となりました。



講師の福間師

# 僧侶研修会 常例法座

## 福間義朝師をむかえコロナ禍の信心をつかがう

でオンラインによる行事が増えた話を皮切りに、参加者から様々な質疑を受けてお話しされました。参加者からは「沖縄はお葬式・ご法事がとても多い地域ですが、悲しみの場にはどんな法話がお話ししたいと思われませんか」「ご法話の時、話す側に情熱がないと相手に伝わりにくいと実感しています。



中岡团长によるあいさつ

2月11日(土)午後7時、沖縄別院本堂において沖縄特区布教団主催「僧侶研修会」を開催しました。開会式では中岡順忍布教団々長が挨拶をしました。講師には福間義朝師(備後教区世羅組教専寺住職)をお招きし、「コロナ禍の中で」と題してご講義いただきました。福間師はコロナ禍



福間師による僧侶研修会の様子

先生はどんな工夫をされていますか」など具体的な質問がありました。翌12日(日)午前10時からの常例法座にも引き続き福間師をお招きし、ご法話いただきました。福間師は「親鸞聖人の時代にも疫病は蔓延しました。もし、

コロナ禍に親鸞聖人がおられたら、どういう思いで生きられたでしょうか」と問いかかれ、「仏恩報謝、申し訳ない、有り難いと生きることが大事です」と締めくくられました。最後に、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)を参拝の皆さんとご唱和し、講師・皆さんも共に茶話会で歓談を楽しみました。常例法座に県外から講師が来られることは少なく、多くのご参拝をいただきました。



ご法話に聞き入るご参拝の皆さん



楽しい話に花が咲く茶話会

# 沖繩別院 宗祖親鸞聖人報恩講法要

## 前日には実践運動推進研修会を開催



【御俗姓】拝読

報恩講法要



特区内から大勢が参拝された報恩講



ご法話される和氣師



研修会で講義される和氣師



皆でお齋をいただく

1月21日(土)午後5時から「第2回実践運動推進研修会」を開催しました。まず映画「ドキュメンタリー沖繩戦」を上映し、開会式、続いて、奈良教区吉野西組圓光寺住職の和氣秀剛師にご講義いただきました。「ドキュメンタリー沖繩戦」を鑑賞したうえで、「非戦平和」悲惨な戦争からの学びと啓発」をテーマにお話しされました。翌、22日(日)午前10時から「宗祖親鸞聖人報恩講法要」を修行しました。特区内寺院の誓願寺衆徒・谷口智行動式指導員が会係を、大典寺衆徒・安里正輝さん、真常寺法務員・亀原了溪さん、

浄光寺衆徒・宇垣哲さんが結果出勤されました。結果出勤の3名は、別院が毎月開く勤式練習会(お経の練習会)に10月から参加して習礼をかさね、このたびはその成果を存分に発揮されました。本堂には特区内から大勢のご参拝をいただき、皆さんともにお勤めしました。読経後、中岡順忍輪番による『御俗姓』の拝読、ならびに挨拶がありました。ご法話は昨日に続き、和氣秀剛師を講師にお招きしました。和氣師には2020年度にご出講を依頼していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により2年連続で出講中止となり、このたびようやくお話を聞かせていただきました。最後に「報恩講の歌」を斉唱そして和氣師・参拝の皆さんとお齋をいただき、大変有意義な時間を共に過ごさせていただきました。